



# 事業概要 2023

公益財団法人 台東区芸術文化財団

# 目 次

設立趣意書	3	II スポーツ文化に関する事業	23
組織	4	＜スポーツ文化の自主事業＞	
公益財団の財政	5	1 台東リバーサイドスポーツセンター	
事業体系	7	＜受託事業＞	
施設の概要		1 施設開放	
1 朝倉彫塑館	8	2 初心者スポーツ教室	
2 下町風俗資料館	9	III 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営	24
3 下町風俗資料館付設展示場「旧吉田屋酒店」	10	＜受託事業＞	
4 一葉記念館	11	令和4年度文化施設の利用状況	
5 旧東京音楽学校奏楽堂	12	令和4年度台東リバーサイドスポーツセンター	
6 書道博物館	13	の利用状況	
7 台東区立文化施設の団体見学に関する情報	14	IV 芸術・文化・スポーツ活動の調査・	
8 台東リバーサイドスポーツセンター	15	情報収集及び提供に関する事業	25
事業の概要と実績		＜自主事業＞	
I 芸術文化に関する事業	17	1 文化情報の収集と提供	
＜芸術・文化施設等活用の自主事業＞		2 奏楽堂友の会運営	
1 朝倉彫塑館		＜収益事業＞	
2 下町風俗資料館		1 図録・小冊子等の作成及び発行	
3 一葉記念館		V SNS 配信について	26
4 旧東京音楽学校奏楽堂			
5 書道博物館			
＜音楽・美術・芸能文化等の提供の自主事業＞			
1 文化コンサート（旧東京音楽学校奏楽堂）			
2 文化コンサート（経営課事業係）			
3 こどもの芸術と文化			
4 下町大音楽市			
5 ジャズ			
6 にほんの音			
7 にほんの美			
8 台東薪能			
9 浅草芸能大賞及び名人会			
10 宮中雅楽			
11 伝統芸能講座			
12 財団設立趣旨に沿う事業への協力			
13 共催事業及び後援事業			
14 出前講座及び学びのキャンパスプランニング			

## ご 挨拶

平成11年4月に「財団法人 台東区文化・スポーツ振興財団」と「財団法人 台東区芸術・歴史協会」が統合されて発足した台東区芸術文化財団は、区民の皆様と行政が連携して、区民の自主的な芸術、文化、スポーツ活動を促し、うるおいのある区民生活とにぎわいのある地域社会の発展に寄与することを目的としております。平成23年4月からは「公益財団法人」として現在に至っております。

本財団では、「台東薪能」や「宮中雅楽の夕べ」といった伝統文化の継承や、「浅草芸能大賞・名人会」といった大衆芸能の振興、区民参加の区内楽団による「下町大音楽市」などを行っております。また、平成17年度より、指定管理者制度により区立文化施設及び台東リバーサイドスポーツセンターの管理運営と各種事業を実施しております。

令和2年より世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設の休館や事業の延期・中止を余儀なくされ、社会情勢の変化がある中、感染対策を行いながら施設運営及び、事業の実施に取り組んでまいりました。

そうした状況の中、オンラインでお客様に芸術文化に触れて頂けるよう、YouTube等で動画配信を開始し、令和3年度にはキャッシュレス決済の導入、令和4年度にはInstagramアカウントの開設など新たな取り組みを展開してまいりました。

また、下町風俗資料館は、より親しみやすい施設に生まれ変わるため、令和5年度からリニューアル工事を行っており、名称も「したまちミュージアム」に変更される予定です。

新型コロナウイルスも少しずつ落ち着きつつある今、以前のように芸術・文化・スポーツ活動の活気が戻るよう、今後も積極的に取り組んでまいります。

本書は、令和2年度から令和4年度にわたる活動状況をまとめたものとなりますので、本財団を知っていただく一助となれば幸いです。

台東区の優れた歴史と伝統を守り、さらに、活力にあふれ多彩な魅力が輝く「世界に輝く ひと まち たいとう」の実現のために、引き続き皆様の本財団へのご支援をお願い申し上げます。

公益財団法人 台東区芸術文化財団 理事長

## 公益財団法人 台東区芸術文化財団 設 立 趣 意 書

台東区は、古い歴史と伝統に培われながら、下町特有の精神風土を醸成し、上野と浅草を二大拠点とした文化と観光のまちとして発展してきた。

こうして育まれ蓄積された歴史と伝統を受け継ぎ、新しい時代に対応する文化の創造と健全なスポーツの振興を図り、明るく豊かな地域社会の実現を進めていくことは、区と区民に課せられた使命である。

21世紀を目指して、昭和53年に「台東区基本構想」は「台東区独自の地域特性を踏まえ、社会の新しい進展の方向を見つめ、健康で文化的な生活の実現」を図り、「明るく豊かな地域社会の実現」を目指すことを基本理念とし、「豊かな人間形成と市民文化の育成」を基本目標の一つとして、設定している。そして、区と区民が一体となって、この基本構想の実現を目指して、不断の努力を続けているところである。

こうした中であって、区民の文化・スポーツに対する要望は、施設の整備拡充、利用機会の拡大、活動への参加など、増大し多様化しつつある。一方、自治意識や連帯感の高まりと強まりに伴って、区民の文化・スポーツ活動への参加意欲は、自発的で積極的な方向へと進行しつつある。

このような背景のもとで、区民の文化・スポーツのより一層の向上を図るためには、幅広い区民の自発性と積極性を尊重し、こうした区民の活力を生かした新しい発想による対応が不可欠である。

施設の管理運営にあたっては、利用者である区民自らが愛着を抱き、しかも容易に利用できるよう、そのための体制確立が期待されている。

こうした期待に十分に応えるためには、従来の行政の枠を越えた組織、すなわち行政による出資を根幹とした安定的財政基盤を保持し、かつ民間の自由で豊かな発想と活力を発揮できる弾力的な組織形態による対応が必要である。

以上の認識と観点に立って、ここに「財団法人台東区芸術文化財団」を設立する。この財団は、関係住民の代表並びに区職員等をもって組織し、民間の活力、人材等を得て、新たな視点から運営にあたる。そして、区の文化・スポーツ施設の管理運営及び文化・スポーツ振興のための各種事業を実施する。

この財団を母体として、今後ますます増大化、多様化かつ高度化しつつある区民の文化・スポーツ欲求に対応し、もって明るく豊かな地域社会の実現に寄与しようとするものである。

平成11年4月1日

# 公益財団法人への移行について

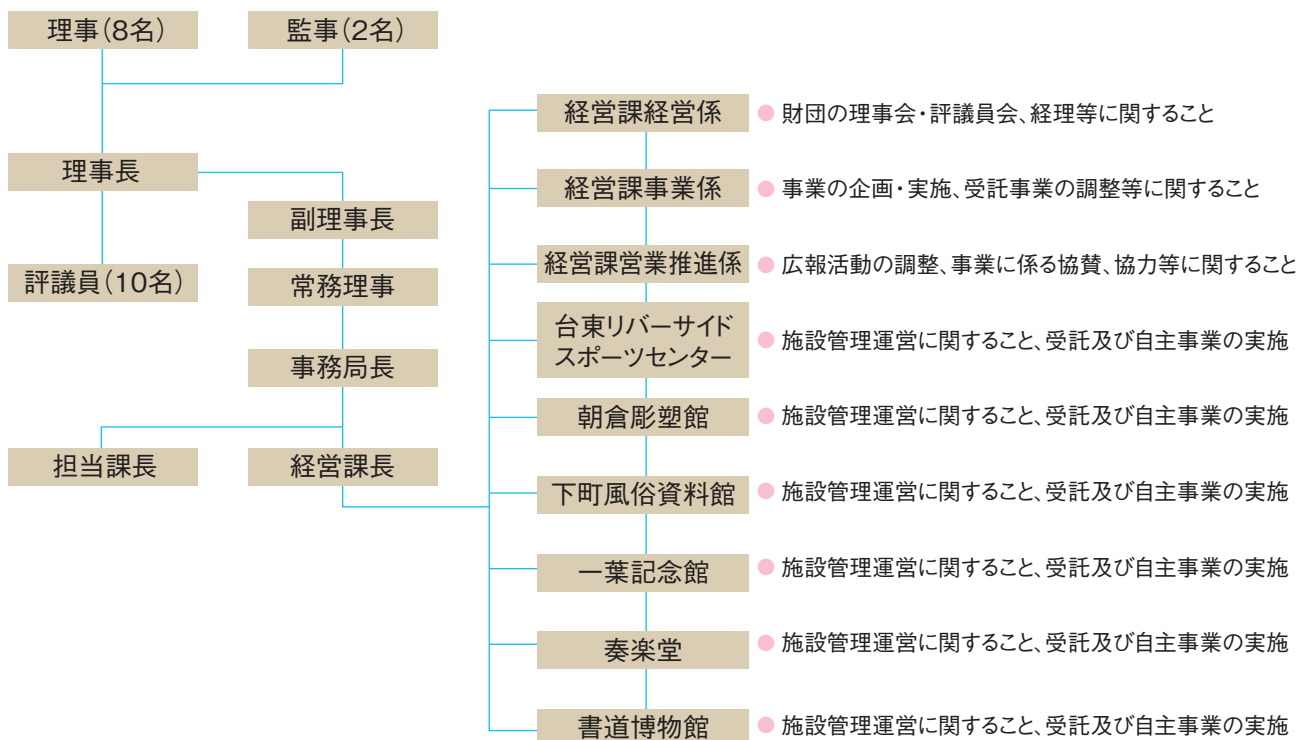
平成20年12月に公益法人制度改革のため、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」が施行され、従来の財団法人は平成25年11月末までに新法人に移行することとなりました。

こうした状況を受け、平成22年10月に理事会及び評議員会を開催し、今後の対応を検討した結果、全会一致で公益財団法人に移行することが議決されました。そこで、同年11月に公益財団法人への移行申請を行ない、東京都公益認定等審議会の公益認定の答申を得て、平成23年4月1日から新たな公益法人として出発するものです。

公益財団法人台東区芸術文化財団は、平成11年4月に設立された「財団法人台東区芸術文化財団」の設立理念を継承し、芸術・文化・スポーツの振興を通じて明るく豊かな地域社会の実現に寄与しようとするものです。

平成23年4月1日  
公益財団法人 台東区芸術文化財団

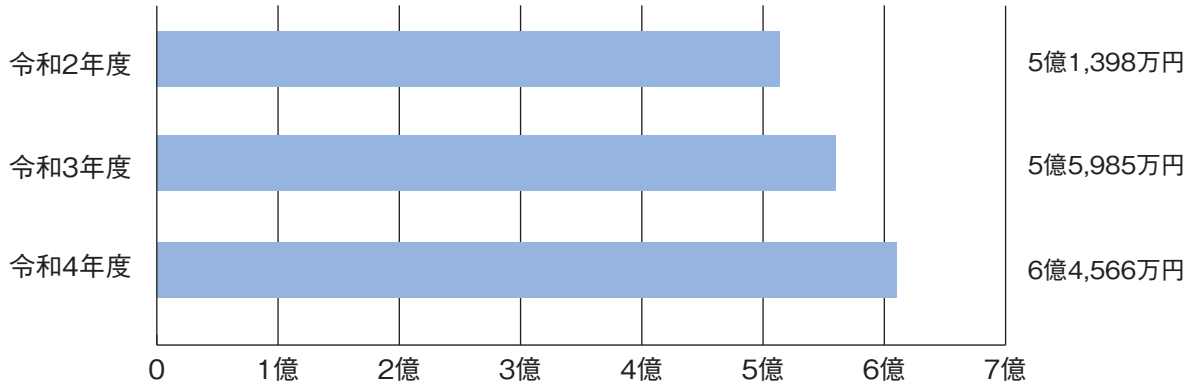
## 組織 (令和5年12月現在)



# 公益財団の財政

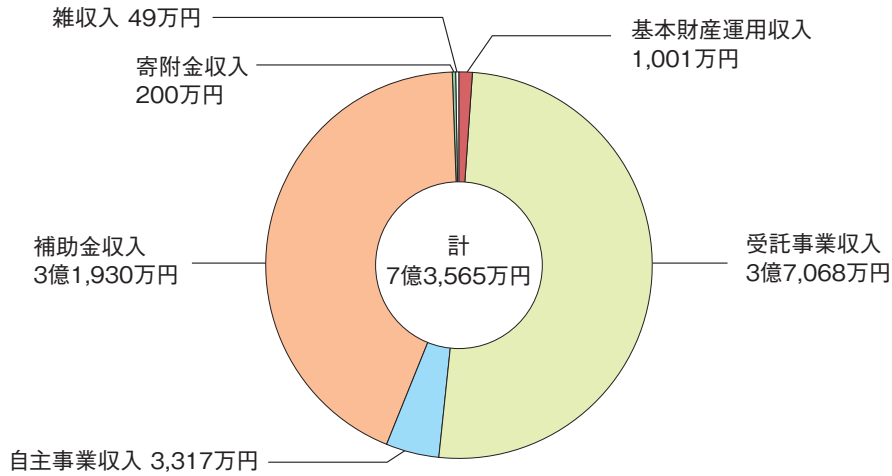
基本財産 5億円

## 支出決算額の推移

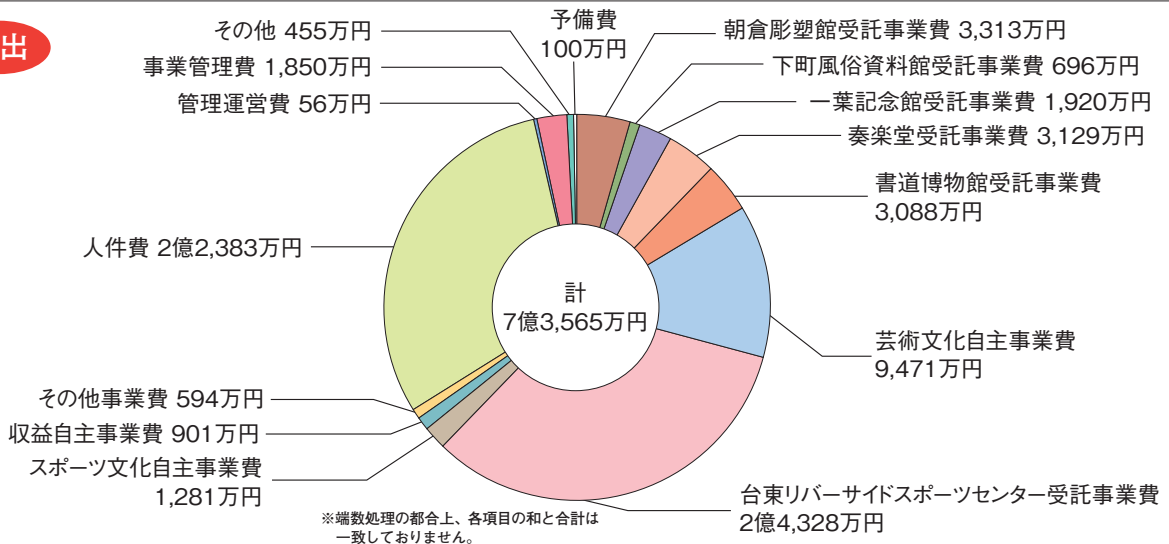


## 令和5年度当初予算

### 収入



### 支出



## 年度別収支決算状況

単位：万円

科目／年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>①収入決算額</b>			
<b>I 事業活動収支の部</b>			
事業活動収入	66,637	67,152	71,712
①基本財産運用収入	1,001	1,001	1,001
利息収入	1,001	1,001	1,001
②事業収入	35,699	36,598	38,375
受託事業収入	34,920	34,754	34,673
自主事業収入	779	1,844	3,702
③補助金収入	29,851	29,345	32,073
区補助金収入	29,851	29,345	32,073
④寄付金収入	39	165	218
寄付金収入	39	165	218
⑤雑収入	47	43	44
運用財産利息収入	1	1	1
雑収入	46	42	43
<b>II 投資活動収支の部</b>			
投資活動収入	4	3	3
①基本財産取崩収入	4	3	3
収入合計	66,641	67,155	71,715
<b>②支出決算額</b>			
<b>I 事業活動収支の部</b>			
事業活動支出	51,198	55,571	64,324
①芸術文化事業費支出	13,937	16,382	18,921
朝倉彫塑館受託事業費支出	2,704	2,626	2,791
下町風俗資料館受託事業費支出	1,510	1,487	1,688
一葉記念館受託事業費支出	1,529	1,638	1,639
奏楽堂受託事業費支出	2,119	2,230	2,445
書道博物館受託事業費支出	2,463	2,367	2,549
芸術文化自主事業費支出	3,611	6,034	7,809
②スポーツ文化事業費支出	18,417	19,565	23,108
台東リバーサイドスポーツセンター受託事業費支出	18,277	19,072	21,845
スポーツ文化自主事業費支出	140	493	1,263
③収益事業費支出	409	557	848
収益自主事業費支出	409	557	848
④その他事業費支出	495	497	492
台東リバーサイドスポーツセンター受託事業費支出	495	497	492
⑤管理費支出	17,941	18,570	20,956
人件費支出	17,211	17,713	19,905
管理運営費支出	10	20	26
事業管理費支出	720	836	1,025
<b>II 投資活動収支の部</b>			
投資活動支出	200	414	242
①基本財産取得支出	3	3	3
②特定資産取得支出	197	411	239
支出合計	51,398	55,985	64,566

※端数処理の都合上、各項目の和と合計は一致していません。



# 事業体系

## I 芸術文化に関する事業

### 〈芸術・文化施設等活用の自主事業〉

- 1 朝倉彫塑館 ————— (1)特別展  
(2)常設展(特集)・通常イベント
- 2 下町風俗資料館 ————— (1)特別展  
(2)企画展  
(3)芸術・技術実演会
- 3 一葉記念館 ————— (1)特別展  
(2)企画展  
(3)一葉祭  
(4)特別講座  
(5)文化ボランティアガイド
- 4 旧東京音楽学校奏楽堂 ————— (1)特別事業  
(企画展、特別コンサート、体験教室)
- 5 書道博物館 ————— (1)特別展  
(2)企画展

### 〈音楽・美術・芸能文化等の提供の自主事業〉

- 1 旧東京音楽学校奏楽堂：文化コンサート ————— (1)日曜コンサート、藝大生による木曜  
コンサート、日曜特別コンサート
- 2 経営課事業係：文化コンサート ————— (2)演奏会
- 3 こどもの芸術と文化 ————— (1)Concert for KIDS  
(2)ファミリー向けコンサート
- 4 下町大音楽市
- 5 ジャズ ————— (1)UENO JAZZ INN  
(2)浅草ジャズコンテスト
- 6 にほんの音 ————— (1)したまち邦楽ワークショップ  
(2)邦楽フレッシュコンサート  
(3)邦楽爛漫
- 7 にほんの美 ————— (1)美術ワークショップ
- 8 台東薪能 ————— (1)台東薪能ワークショップ  
(2)公演
- 9 浅草芸能大賞及び名人会 ————— (1)浅草芸能大賞  
(2)浅草名人会
- 10 宮中雅楽
- 11 伝統芸能講座
- 12 財団設立趣旨に沿う事業への協力
- 13 共催事業及び後援事業
- 14 出前講座及び学びのキャンパスプランニング

## II スポーツ文化に関する事業

### 〈スポーツ文化の自主事業〉

- 1 区民スポーツ教室 ————— (1)硬式テニス教室  
(2)初心者ゴルフ教室  
(3)かけっこ教室
- 2 区民スポーツ大会
- 3 桜橋・わんぱくトライアスロン

### 〈受託事業〉

- 1 台東リバーサイドスポーツセンター ————— (1)施設開放  
(2)初心者スポーツ教室  
(3)キッズ体操教室【幼児運動教室】

## III 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営

### 〈受託事業〉

- 1 区立文化施設
- 2 台東リバーサイドスポーツセンター

## IV 芸術・文化・スポーツ活動の調査・情報収集及び提供に関する事業

### 〈自主事業〉

- (1)文化情報の収集と提供  
(2)奏楽堂友の会運営

### 〈収益事業〉

- (1)図録・小冊子等の作成及び発行